

平成28年度第3回東温市総合教育会議会議録

開会の日時及び場所 平成29年3月17日(金)午後1時30分
東温市庁舎 4階 大会議室

議事に出席した委員	東温市長	加藤 章
	教育長	池川 仁志
	教育委員	菅原 正夫
	教育委員	遠富 英子
	教育委員	本田 隆彦
	教育委員	水岡 明美

議事に出席した職員	総務部長	永野 昌二
	総務課長	渡部 祐二
	危機管理課長	門田 千志
	保育幼稚園課長	丹生谷 衛
	生涯学習課長	池田 隆太
	給食センター所長	大石 廣子
	事務局長	高須賀 広一
	学校教育課長	加藤 厚志
	学校教育課長補佐	松本 則一
	学校教育指導主事	築山 信雄
	学校教育課主査	長曾我部 憲一郎

傍聴人 4名

午後1時30分開会

高須賀事務局長

定刻が参りましたので、平成28年度第3回東温市総合教育会議を開催いたします。

東温市総合教育会議設置要綱第4条に基づき、総合教育会議は市長が議事の進行を行うこととなっておりますので、よろしく願いいたします。

加藤市長

私が議長を務めさせていただきます。なお、本日は4人の方が傍聴を希望されております。傍聴を許可してよろしいでしょうか。(異議なしの声) 傍聴者の入室を許可します。(傍聴者入室)

それでは一言ご挨拶を申し上げさせていただきます。皆様こんにちは。本年度の第3回東温市総合教育会議を招集しましたところ、教育委員の皆様方にお集まりいただき会議が開かれますことを深くお礼を申し上げます。

さて、本日は主な議題といたしまして、平成29年度教育基本方針案、および平成29年度教育関係主要事業につきまして、2つの議事を予定しております。子どもたちが将来に希望を持ち、それぞれの能力や個性を活かしながら夢に向かって挑戦できるよう教育を推進していくための柱となりますのが教育基本方針でございます。

また、教育基本方針に掲げる重点施策に基づき、教育委員会各課が実施する事業につきましても一昨日、市議会におきまして平成29年度予算が可決されたところでございます。一般会計総額では144億200万円、それから特別会計を全て入れた額では、262億4060万円となっております。このうち教育予算は約17億5200万円で、対前年から見ますと、約2億5000万円の増、16.6%のアップとなっております。これらの予算を基にまた皆様方の英知を基に、教育行政を進めていきたいと考えておりますので、よろしくお願いをいたします。

つきましては、教育基本方針案並びに教育委員会が推進する各種事業に関しましては皆様方と十分に協議し、そして共通認識のもとに、積極的に推進して参りたいと考えておりますので、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。開会のあいさつといたします。よろしくお願いをいたします。

それでは次に、協議題第1号として平成29年度教育基本方針案について協議を行います。事務局及び関係課から説明をお願いいたします。

加藤課長

平成29年度東温市教育基本方針案について説明させていただきます。

教育委員会では第2次東温市総合計画を基に、東温市教育大綱における教育振興と連携を図りながら、毎年度教育基本方針を作成しております。つきましては、本日委員の皆様方に平成29年度教育基本方針案の内容につきまして、ご協議いただいた上で今月の定例教育委員会に上程したいと考えております。

なお、平成29年度教育基本方針案においては基本理念、それから重点目標は総合計画等との整合性を図る観点から平成28年度の内容を踏襲することとしております。重点施策は、教育委員会各課が平成29年度重点的に取り組む内容を基に見直しを行っておりますので、各課から説明をさせていただきます。

まず、学校教育課は、安全安心な教育環境の整備の教職員の防災士資格取得及び活用ですが、災害時に学校において災害の中核を担ってもらふ教職員を養成するために平成29年度から各学校の先生方が防災士養成講座を受講する予算を確保し

ました。

防災士とは、防災減災活動の為に十分な意識、知能技能を有する人で、所定の講座を受講後に日本防災士機構が行う試験に合格して資格取得となります。学校現場において、防災教育の中核的な役割を行うとともに災害時に防災士として知識技能を活用してもらう事で防災体制の整備が一層進むと考えております。なお、教職員の人事異動で有資格者がいなくなることを考慮して、数年は継続して予算計上したいと考えております。

次に、確かな学力を育てる教育の推進は、定着度確認テスト、これは県が学力向上5ヵ年計画の一環として実施しているテストですが、5ヵ年計画が本年度で終了するため、その代わりに今年度から実施している振り返りテスト、これを盛り込んでおります。

次に、豊かな心、健やかな体を育てる教育の推進は、重信中学校の2ヵ年の人権教育研究指定校事業が今年度で終了したので、その代わりに川上小学校の道徳教育推進事業と川内中学校の環境教育推進事業を追加しました。これは平成29・30年度の2ヵ年事業として県から推進校の指定を受けた事業です。

また、緑の少年隊事業等体験事業ですが、緑の少年隊事業をはじめ、体験事業を各学校で実施しているという意味で今までは掲載しておりましたが、緑の少年隊事業を一つの事業として位置付け、その他の学校の体験事業につきましては、体験、見学、交流などを合わせて、特色ある学校づくり事業として掲載しました。

また、食物アレルギー対策の推進は、関係機関が情報共有し連携して対応にあたるために、今年度食物アレルギー対策委員会を立ち上げました。今年度は市内共通の緊急時対応マニュアルを策定し、来年度はこの共通マニュアルを基に適切な対応を一層充実したいと考えておりますので、重点施策として追加しております。

次に、特別支援教育の充実、南吉井小学校の特別支援学校担任者等研修会・特別支援教育学校訪問事業は今年度で終了となりますので、削除しております。学校生活支援員の配置は、平成29年度に支援員を26名から30名に4名増員します。

また、環境整備は、特別支援教育の対象となる児童生徒の状態に応じて、教室等の環境整備、防音対策、空調等の環境整備にも積極的に取り組んでおりますので、新たに追加しております。学校教育課は以上でございます。

丹生谷課長

保育幼稚園課の重点施策についてご説明をいたします。地域における子育て支援の充実は、放課後児童クラブの受入れを平成27年度は小学校3年生まででしたが、平成28年度から小学校6年生までに拡充しました。

現在、上林・東谷・西谷小学校で開設をしている放課後子ども教室を平成29年

度から放課後児童クラブに移行します。

乳幼児期の教育・保育の充実は、改修計画等の文言を幼稚園・保育所における環境整備の推進という文言に変更し、幼稚園・保育所の障がい児支援については、支援員の前に生活を付け加えて生活支援員としております。

市立幼稚園の一時預かりの実施は、平成28年度は、東谷・西谷・重信幼稚園のみで実施をしましたが、平成29年度からは全ての幼稚園で一時預かりを実施するために、個別の幼稚園名を削除しました。保育幼稚園課は以上でございます。

池田課長

学び合い高め合う生涯学習の推進は、各種講座開催事業、いきがい大学、レディース学級を統合して、来年度は東温カレッジ事業として予定をしております。概ね50歳以上の方を対象に、これまでと同じような内容の事業で、健康づくりや趣味、教養などについての学習の機会の提供を行い、仲間づくりや生きがいづくりを目的に1年間を通して学ぶ講座です。定員150名を予定しております。講座の内容は防犯講座、人権講座、健康講座、スポーツ教室、料理講座、教養講座など全10講座を予定しております。

次に、社会教育団体等との連携強化は、SARAが平成28年度に活動を休止するために、削除をしております。

国際音楽の日記念コンサートは、名称の誤りがありましたので正しくは、記念コンサートという標記を追加しております。

読書活動の推進と図書館利用の促進は、東温市子ども読書活動推進計画は今年度第3次計画を作成しましたので、第2次から第3次に標記を修正しております。

中予圏域内の図書館利用対象の拡大は、松山圏域内の図書館連携により利用対象者の拡大をする取り組みです。3月末に連携協定を締結する予定ですが、この取り組みの開始は平成29年5月1日から利用対象者を圏域の住民に広げ、サービスの向上を図る予定です。

次に、地域文化の継承・発展と文化財の保存・活用は、標記について文化財という文言を付け加えて、文化財・埋蔵文化財の調査と修正しております。生涯学習課は以上でございます。

大石所長

学校給食センターは平成29年度は平成28年度と同じで、変更はしておりません。以上でございます。

加藤市長

事務局及び関係課の説明が終わりました。委員の皆様ご意見ご質問等よろしくお願ひいたします。

本田委員

豊かな心、健やかな体を育てる教育の推進の部分ですが、上林・西谷小学校は緑の少年隊活動を大変立派にされています。他の学校においても特色ある、あるいは工夫を凝らした活動をされおり、今回、新たに特色ある学校づくり事業も追加していただいております。掲載の順番ですが、特色ある学校づくりの大枠の中で、緑の少年隊事業があるとも思われますので、特色ある学校づくり事業を緑の少年隊活動の上にしたらどうでしょうか。

加藤市長

事務局お願いします。

加藤課長

掲載の順番は特色ある学校づくり事業が緑の少年隊事業の上に掲載すべきだと思いますので、そのように修正させていただきます。

加藤市長

よろしいでしょうか。

本田委員

はい。

加藤市長

他にご意見ございませんでしょうか。

菅原委員

昨日中学校の卒業式があり、来週は小・中学校、保育園、幼稚園の卒業式があります。今年度を振り返ってみると、いろいろな面で進んだ事業があると思います。非常にありがたく思っております。

ただ、今年度の一番大きな出来事、小学校で発生したいじめの重大事件。いじめを重大事件と認定して調査委員会から調査結果が出され、組織的な対応が遅れて問題が大きくなった。そういう指摘を受けた事実がありますが、この点がもう一度しっかりと捉えなければならない。

つまり、基本方針は予算的な事業を中心に組み立てているのは分かりますが、基本方針ですので、予算以外の事業といいますか、課題の解決を行うことをする必要があります。そういう意味でいじめ事件に対しては、迅速的確に対処するという意思を、先生方あるいは父兄方にも示す必要があるのではないかと思っております。

いじめには、しっかりと対応するという意味を込めて迅速的確に対応していく、そういう表現をどこかに入れるべきではないかと思っております。

その中に、いじめ・不登校等への組織的対応、この中に東温市いじめ防止基本方針の見直しと実効的な組織の整備が入っていますが、基本方針に沿って行けば迅速

的確な対応というのが入りますが、今までの反省も踏まえて強調し、的確、迅速と
いうことを記載するべきではないかと思えます。

加藤市長

事務局お願いします。

加藤課長

はい。表現をもう少し具体的に強調するような形で検討をさせていただきたいと
思います。

加藤市長

よろしいでしょうか。

菅原委員

はい。

加藤市長

他にございませんか。

遠富委員

先ほど本田委員さんが特色ある学校づくりの中に緑の少年隊があると言われま
した。緑の少年隊の活動をしていない学校に対しては、新しくどのような事をする
のか。計画を立てる、予算を要求することではなく、今までずっと各学校で行われ
ている伝統的な教育あるいは伝統的な教育が各学校にあります。

例えば、川上小学校では青少年赤十字の活動、東谷小学校では小さな親切運動が
あります。全く新たなものを作り上げるのではなく、その形を変えたり方法を変
えたりして時代に合わせていきますが、伝統を大切にしていける事がとても大事だと
思います。

各学校に新しく来られた校長先生や他の先生方がそれぞれの学校の伝統や地域
の空気などを理解していただいて、それを引き継いでいただきたいのですが、難し
いこともあります。もし、全く新しい事をしようとされることがあれば、それはそ
れで良いのですが、従来から行われている学校、地域の伝統的な教育風土、それも
是非大事にして、この特色ある学校づくりとしていただきたいと思えます。

加藤市長

事務局お願いします。

加藤課長

特色ある学校づくり事業は、総合戦略事業になっており、ふるさと教育・キャリ
ア教育の一つとして実施している事業です。教科書だけでは学べない各学校の特色
を生かした体験学習を積極的に推進していきたいと思えます。

加藤市長

他にございませんか。

池川教育長

菅原委員さんから、いじめの重大事態を重く受け止めて29年度の方向性を示すべきだと言われましたが、本当にその通りだと思っております。いじめの無い学校づくり、言い換えると笑顔で登校して笑顔で下校できる学校づくりを進めるためにどのような重点項目を定めるべきなのか。これは教育委員会内、また、校長先生をはじめとして教職員も、生徒指導主事等も含めて、十分話し合いを行いました。

いじめ・不登校等への組織的対応が中心になりますが、全ての教育活動の中で組織的対応を押し進めなければいけないという事で、現在、実践に移しているのが、教職員の指導力向上です。研修の充実を図るために、重点施策に位置付けております。

もう一つは、教員個人がいじめに対応するのではなく、校長先生を中心として組織として対応できるように、この中に入れさせていただいております。

それから、子どもの心を育てることが一番大切だと思っております。道徳教育の充実、そして人権教育の充実、それをこの項目の中に入れております。

そして、学校だけの取組だけでは十分対応ができないところがありますので、保護者との連携、関係機関との連携、それらも踏まえてトータル的に、いじめの無い楽しい学校づくりに全力で取り組んでいきたいと思っております。

加藤市長

他にご意見ございませんでしょうか。

他にご意見無いようですので、続きまして協議第2号、平成29年度教育関係主要事業につきまして事務局及び関係課から説明をお願いします。

加藤課長

平成29年度当初予算については、15日に議会で可決されましたので、各課の主要な事業についてご説明させていただきます。

学校教育課関係ですが、特別支援教育事業は毎年度事業の充実を図っており、平成29年度は学校生活支援員を現在の26名から30名に4名増員します。

また、専門家の立場から配慮を要する児童生徒の担任や保護者に指導・助言を行う特別教育支援指導員の活動日数を130日から260日に倍増して予算計上しております。

続きまして、国際理解教育推進事業は、滑川観光資源の活用という総合戦略事業の一つとして今年度から実施している事業です。学校の授業とは違った環境で外国語講師と英語を使ったゲームや料理などのコミュニケーション活動を行う事で外

国に興味を持ってもらい、グローバルな視点をもってコミュニケーションが図れる子どもを育てる事を目的に、平成29年度にイングリッシュキャンプ、国際料理教室を実施いたします。今年度の様子の写真を載せておりますが、今年度募集人数に対して参加人数が少なかったという結果になっております。したがって、来年度は学校に積極的に参加協力をしてもらえるよう働きかけるとともに、児童生徒が参加しやすいような日程を調整したいと考えております。

続きまして、小中学校大規模改修事業は、学校施設大規模改修計画に基づいて平成29年度は拝志小学校南校舎大規模改修工事を予定しております。対象となる校舎は昭和48年建築、鉄筋コンクリートの2階建て1154㎡の建物です。外壁や内部の壁、床、建具などの改修の他、機械設備電気設備の改修を実施します。

学校ICT整備事業は、校務支援システム、学校グループウェアの整備を行う事で校務の効率化、教職員の負担軽減、更に児童生徒との関わりになる時間の創出を目指すという事と、セキュリティの強化を図るというものです。

まず、校務支援システムは、児童生徒の名簿情報を電子化、一元化して通知表等各種帳票を作成するシステムです。次に学校グループウェア導入は、行事予定、掲示板、施設予約などの機能を持ったネットワークを整備することで同じ学校の先生の間、教職員間、あるいは学校間、学校と教育委員会の間、これらで情報の共有を図って事務の効率化を推進するというものです。また、ネットワーク整備に合わせて、セキュリティ面の強化も図ることとしております。

次に、小中学校アウトリーチ事業は、坊っちゃん劇場を核とする文化観光振興という総合戦略事業として、今年度から実施している事業です。坊っちゃん劇場の俳優さんが市内の小中学校へ出向いて演劇、ダンス指導を行って、表現力を身に付けさせるというもので、ミュージカルや坊っちゃん劇場への関心を持ってもらう事で坊っちゃん劇場の活性化を図ることを目的に実施している事業です。平成29年度も合計40回の演劇指導を行う予定にしています。学校教育課関係は以上です。

丹生谷課長

保育幼稚園課から事業の説明をさせていただきます。重点目標は、子育て支援の充実として掲載しており、保育所・幼稚園の運営も含まれています。

放課後児童クラブは、来年度、上林・東谷・西谷の放課後子ども教室が児童クラブに移行するため、約9900万円を計上しています。

児童相談事業、要保護児童対策事業は、子育て相談窓口を中心として家庭訪問等を実施しております。児童相談員4名の体制で実施し、約250万円を計上しています。

ファミリーサポートセンター運営事業は、コーディネーターの賃金が主なもので

す。平成28年度から子どもを預かっていただいた方に補助を行っており、その費用も含まれており、約440万円です。

赤ちゃん訪問事業は、生後4カ月までの新生児に対して保健師あるいは保育士を訪問させていただいて今後のアドバイスを行う事業です。予算250万円を計上しております。

紙おむつ購入券配布事業は新規の事業であり、第2子以降の出生の子どもに対して約1年間分の紙おむつ代、金額にして5万円の交換券を配布する事業です。愛媛県主導で、県下全ての市町が参加して実施します。東温市は約580万円の予算を計上しています。

市立幼稚園の一時預かり事業は、東谷・西谷・重信幼稚園に加えて北吉井幼稚園・川内幼稚園での夏季休業中の預かり保育、重信幼稚園においては平日に2時間延長を行って実施をしたいと考えています。予算は540万円です。

婚活支援事業は、セミナー・イベントを実施しており、イベントは3市3町の連携事業で実施をしていますが、それに加えて29年度については、縁結びサポーターとして仲人さんの育成をするための委託費も含まれており、約100万円です。

子育て支援拡充事業は、今年度から始めた事業であり、総合戦略として幼稚園・保育所・児童館の事業内容を拡充・充実して予算を計上しています。児童館は社会福祉協議会から派遣をいただいておりますが、職員の賃金アップ・処遇改善、幼稚園・保育所の遊具の設置、幼稚園・保育所や小規模事業所を巡回指導する内容で、予算は1500万円です。

一時保育事業は、拝志保育所と南吉井第二保育所で引き続き実施します。

保育所改修事業は、保育所のガラスの飛散防止、南吉井第二保育所のトイレ改修等を行う事業です。予算は1900万円です。

地域子育て支援センター運営事業は予算1400万円です。健康センターの2階で運営をしており、育ちの支援教室パレットで就学前の支援が必要なお子さんに療育支援を実施しています。

子育て施設等利用者支援事業は、保育所・幼稚園・児童クラブなど様々な子育て支援に係る相談が窓口にあった時に専門員が説明をして適切に利用ができるようにアドバイスをする事業です。金額は700万円で、4人の職員を充てております。

児童館管理運営事業は、3館の運営を行う事業であり、約5400万円です。

幼稚園改修事業は、29年度に全ての園にエアコンを設置します。夏までに設置を終えて、今年の夏には使えるようにしたいと考えております。予算は5300万円です。保育幼稚園課からは以上です。

池田課長

主な事業について説明させていただきます。

社会教育関係団体の育成補助金は、文化団体相互の連絡協調を図り、地域文化の向上、発展、並びに地域社会を創造する活動ができるように支援するものです。主なものとして、文化協会への委託により市民大学を開催しております。これは、各界の第一人者をお招きしてそれぞれの専門分野の分かりやすい公演を実施するものです。市民大学の開催により文化鑑賞機会の充実が図れるとともに、文化の香り高い街づくりの推進につながっています。

例年、坊っちゃん劇場を使用して市民大学を開催しており、来年度は6月25日の日曜日1時から子規記念博物館の館長である竹田館長さんに講演をしていただき、その後に52Daysの観劇を予定しております。

分館活動事業補助金は、市内37分館が行う事業活動に補助金を交付して地域の教育力向上を図る事を目的としています。

図書館管理運営費は、第3次東温市子ども読書活動推進計画に基づく読書活動の推進として、あらゆる機会と場所において自主的に読書ができるよう、地域と行政が連携して子どもの読書環境の充実を図っていく事としております。まず、家庭や地域では保護者等への学習の機会や情報提供の充実、そして、啓発広報活動の推進に努めることとしています。次に、学校では子どもの成長に応じた読書活動の充実を図り、教職員が連携して読書の楽しさを味わえるような指導や取り組みを進めることとしており、朝読書の充実や教職員の知識の向上、および学校図書館に関する情報提供に取り組むため学校関係者への読書活動の推進に努めることとしています。最後に図書館では、子ども読書の日に合わせたイベントの開催により引き続き子ども達が楽しく本と出合える機会を提供していく事としています。また、学校図書館との連携強化を深めていく必要もあるため、朝読書や調べ学習用の本の団体貸し出しやブック登録や読み聞かせの教育についても積極的に行っていきたいと考えています。

各種スポーツ大会・教室開催事業は、来年度も市民の健康の保持増進及び体力の向上を目指すことから各種スポーツ大会を開催し、多くの市民の方々に参加の機会を与えると同時に、日々の生活の中でスポーツすることを浸透させることとしております。

主な事業としては、市民バレーボール大会、市民ソフトボール大会、市民健康マラソン大会を計画しています。また、新規事業として、来年度限りですが、日本トップリーグ機構に所属する選手によるボールゲームフェスタ2017を東温市で開催します。これは、サッカー、ラグビー、バレーボール、バスケットボール、ハン

ドボールなどのトップリーグに所属する選手が小学生を対象にボールを使う競技の楽しさや技術を指導するものです。東温市では平成30年2月10日、土曜日に総合公園多目的広場でサッカー、ラグビー、そしてツインドーム重信でバレーボール、バスケットボールの4種目の開催を計画しています。

市民大運動会開催事業は、市民の健康、体力の向上とコミュニティ意識の高揚を図り、スポーツの普及振興を目的として市民大運動会を計画しております。運動会の開催は市民の方々から様々なご意見をいただいている所ですが、来年度は一部種目の見直しなどを検討することにより、より多くの市民の方が参加できる運動会の開催を目指しています。

スポーツ関係団体の育成補助金は、市体育協会に約2000名が加入しており、市体育協会と市スポーツ少年団への補助金、そして体育関係での全国大会出場者への激励金にかかる補助金です。

体育施設改修事業は、来年度の国体開催に合わせて平成25年度から競技会場となる各施設の改修整備を行ってきましたが、ソフトボール競技の会場として使用する重信川かすみの森公園多目的広場にトイレを建設します。建築場所は、多目的広場の堤防を挟んだ南側に位置する拝志地区浄化センター東側の市所有地の予定です。

文化財保護事業は、寄贈等のあった民具や農具を資料館、川内支所第2別館（旧林業試験場）、旧重信町学校給食センターで保管しております。そのうち、川内支所第2別館は建築後48年が経過しており建物の老朽化が著しく、資料の永続的な保管が果たせないような施設環境となっています。そこで来年度に新たな保管施設の検討を計画するため建物の概略設計等を行う予定です。以上でございます。

大石所長

食品リサイクル収集運搬事業は、給食センターで出た食品残渣や学校から戻ってきた残食等を民間のたい肥委託業者に委託しています。その委託事業費になりますが、たい肥化された生ごみを使って生産農家が野菜を作り、その野菜を給食センターが仕入れるという食品リサイクル等循環型農業を構築しています。その収集とリサイクルにかかる経費です。

次に地場産給食・食育推進事業は、給食センター等が出たてんぷら油で作られるバイオディーゼル燃料をボイラー等に使用することにより削減できた二酸化炭素の排出枠をクレジット化し、その売却利益の一部をこの地場産給食・食育推進事業に充て、地場産物を購入することによって、エコファーマー支援や子どもたちの健康や食の安全安心の確保を図ることを目的として実施しています。以上でございます。

加藤市長

各担当者から平成29年度の教育関係主要事業、予算額等の説明がございました。ご意見ご質問等ございましたら、よろしく願いいたします。

遠富委員

学校教育充実の特別支援教育事業について、生活支援員がプラス2名、合計30名になったと説明がありました。大変素晴らしい事だと思います。東温市の教育の中で特別支援教育は他の市に対しても誇りとする教育であると思っております。説明の中で、特別支援教育指導員の人数が増えたのでしょうか。指導員の方の活動時間が増えたのでしょうか。

加藤課長

現在、渡部徹先生にお願いしている業務ですが、日数を130日から260日に増やして常勤の日数として、1年間を通して勤務していただけるように予算を計上しております。

加藤市長

人数については。

加藤課長

確定ではないですが、来年度からもう一人、今年度末に小学校を定年退職される先生を採用させていただく予定です。

遠富委員

それは、素晴らしい事だと思います。予算がついて、さらに東温市の特別支援教育が充実するという事で本当にうれしく思います。ただ、渡部徹先生は素晴らしい先生ですが、大変忙しいためにお体を心配いたしますが、一人増えるかもしれないという事で大変喜ばしく思っております。

水岡委員

子どもがプロのスポーツの方に触れあうなど、東温市には坊っちゃん劇場もあり、プロの方が小・中学校の児童生徒に指導してもらえるなど、良い事業が東温市にはあります。今後もこの様な活動は、スポーツも演劇もそうですがプロの方に肌で、小さい頃からこの様に触れ合う事ができる事業を予算も増やしてもらって続けていただけると大変ありがたく思います。

加藤市長

関連で事務局。何かありますか。

加藤課長

学校教育課関係のアウトリーチ事業で、坊っちゃん劇場の俳優さんに演劇指導をしていただいております。もう少し拡充をしたいところではありますが、予算的なこと

と、俳優さんのスケジュールの都合もあって調整をしている所ですが、なお一層充実をしていきたいと思えます。

加藤市長

よろしいでしょうか。

水岡委員

はい。

菅原委員

保育所の改修整備については、空調整備を全室完了して、29年度はトイレの洋式化に向けて積極的に取り組んでいただいています。非常に素晴らしい事だと思えますが、施設の配置など30年、40年前の時のいろいろな面のニーズに合わせてできていると思えます。それを今の時代に合わせて考えてみると、保育所の先生方の職員室があまりにも規模が小さくて休憩所もない。あるいは給食施設が保育所で言われているとお手狭である。8000万円の改修を行いますが、改修費が大幅に増えるというのは実際問題難しいと思えますが、単に今のニーズに合わせた改修だけではなくて、せっかくの改修の機会ですから、保育所の若い先生方の意見を聞いてあげていただきたいと思えます。

特に、保育所は朝の7時から19時までの大変な仕事なので、恐らく採用試験も苦勞されていると思えますが、これからは福利厚生も非常に大事だと思えます。特に教育関係は生活支援員さんなど、いろいろな多くの方の採用を見込んでいるわけですが、良い人材を採用しようとするれば、それなりの賃金はもちろんですが、福利厚生もしっかり。それが子ども達のために返ってくるのではないかと思えます。そういう意味でよろしくお願ひしたいと思えます。

次に、拝志小学校の改修工事でお伺ひしたいのは、保育所の洋式・和式トイレの話ですが、昨日の新聞に西条市で洋式化拡充について検討しております。現在洋式化率が29.8%、県平均が38.1%。西条市では半数以上は洋式化するという計画を立てているようですが、今、東温市がその洋式化率がどのくらいになっているのか。市においても公共下水道整備をされているので、各家庭のほとんどが洋式化になっていると思うので、洋式化を積極的に進めていっていただきたい。とは言いましても、ダイキ、フジなど、まだまだ和式トイレも残っています。和式も必要であることは十分わかりますが、どのようになっているのか、そのあたりから教えていただけて是非、洋式化を進めていっていただきたいと思えます。

丹生谷課長

大規模改修事業ですが、菅原委員さんが言われたことを踏まえて、職員のニーズ調査なども実施しながら、また、教育委員会にも事業の進捗状況等を報告しながら

計画を進めさせていただきたいと思います。

加藤課長

トイレの洋式化率ですが、手元に資料が無いので申し訳ございません。今後、改修事業に合わせてトイレの整備をする時は全て洋式化という形で進めたいと思います。ただ、以前もご指摘がありました北吉井小学校はスペースの関係で和式が一つ残りますが、配置的なことを優先させるのか、洋式化の推進を重点に置くのかということを考えながら、できる限り洋式化を進めたいと思います。

加藤市長

トイレの洋式化率は次回の総合教育会議で提出可能ですか。

加藤課長

次回の定例教育委員会で提出いたします。

加藤市長

よろしいでしょうか。他にございませんでしょうか。

菅原委員

この9月から国体が始まります。東温市でも3競技行う事になっております。既に莫大な予算を東温市も費やしていると思いますが、国体が終わった後に何か記念になるようなスポーツの事業が出来ないかと思っております。例えば今もソフトボール大会を行っていますが、記念としてより充実したソフトボール大会をするなど、国体の記念としてスポーツ事業を残すような事が出来ないかと思っており、是非考えていただきたいと思います。

加藤市長

国体関係、総務課何かありますか。

永野部長

国体は今年の9月30日が総合開会式、10月から始まりますが、菅原委員さんが言われました、国体を契機に何か残るような事業をという事ですが、今、考えられるのは、実際に数年前から2月に行っているソフトボールフェスティバルがあります。これは、全国の高校のソフトボールのチーム、また、中学校においては中四国の選抜チームで大会を行っていますが、始まった契機は、国体に向けての競技力向上という事になっておりますが、国体が終わってからも引き続きこの大会を支援していこうという事で計画をしています。国体でスポーツに対する関心も高まると思いますので、何らかの形で残るように考えたいと思います。

菅原委員

是非お願いいたします。

加藤市長

よろしいでしょうか。

本田委員

小さい子どもは良い環境の中で育てていかなければならないと思っております。良い環境というのは人的もありますし、物的もあると思いますが、東温市は大変教育に対して手厚い支援をいただいていることは分かっております。

耐震は他の市町に先立って完成させていただいております。そういった意味では、予算を出しづらい部分もあると感じますが、施設等を見て回ると、幼稚園・保育所はまだ改修が必要な部分があるのではないかと思います。できる範囲で予算を増やしていただいて、先生の勤務しやすいように環境を改善させてあげたいと思います。先ほど基本方針で幼稚園教諭及び保育士の確保と処遇改善という項目もありましたが、私は小学校の勤務経験しかありませんが、幼稚園・保育所を回って回りましたら、小中学校の先生方よりも大変な思いをされているところがあるのではないかと感じました。幼稚園・保育所の先生が生きがいを感じられるような処遇の改善を是非お願いします。

加藤市長

改修計画等に関して何かありますか。

丹生谷課長

改修については、十分現場の意見を聞きながら、検討をしたいと思います。また逐次、定例の教育委員会等でご報告をさせていただきながら進めていきたいと考えております。

加藤市長

他にはないようですので、協議第1号、第2号に関しては、これで協議を終了させていただきます。事務局、その他として何かありますか。

加藤課長

校区外就学の関係ですが、第1回の総合教育会議で協議いただき、第2回の総合教育会議でも経過報告させていただきました。今回、議会と議員さんから一般質問等がありましたが、来年度からの実施に向けて昨年12月に申請の受付を行いました結果、2件の申請がありました。事前に実施したアンケートは、通学支援などの整備の条件に関係なく、就学させたいと回答した保護者が17名いましたが、結果的には2件でした。原因は、募集・周知の期間が非常に短く、保護者の皆さんや児童が十分に検討できなかったと考えております。制度を利用したい気持ちはあるが、実際に就学するとなると最終的に躊躇されたのかなと思います。最終的に希望者が決断できるように学校、地域の魅力を十分に理解してもらう必要があると考えてお

ります。したがって、来年度からは希望者が十分に検討できるように余裕ある申込期間を設定する。それから、地域・PTAと連携して地域との交流体験、学校地域の魅力の発信、これらを積極的に取り組みたいと思っております。以上でございます。

加藤市長

校区外就学等について何かご質問ご意見ございましたらお願いします。

菅原委員

2名の学校はどこでしょうか。

加藤課長

ご事情のあるご家庭もありますので説明ができませんが、1人は松山市から転入された方で、移住・定住促進事業で企画財政課の移住定住の窓口にご相談に来られた際に教育委員会に校区外就学の制度があることを紹介してもらって学校教育課につないでいただき就学されるようになった方がいます。

加藤市長

私からその他の件で1点報告させていただきます。今まで各地域の皆様方の声を正確に反映していくという事で地域別、世代別のミーティングを考えておりますが、教育委員会関係で、子どもミーティングの予定がございますので、ご報告させていただきます。

対象やミーティングの方法等は、これから教育委員の皆様、それから学校長や関係の方々との協議をしながら進めていく事となりますが、基本的には、平成29年度中に子どもミーティングとして小学校の代表、中学校の代表、2回を考えております。これについては、教育委員会の経費ではございませんので総務企画の事務局で実施をさせていただきますが、あくまで対象の子どもの皆さんの声を聞かせていただくという事で計画させていただいておりますので、ご報告させていただきます。今後ともよろしくお願ひ申し上げます。

その他について、他によろしいでしょうか。それでは無いようですので議事を終了させていただきます。

各委員の皆様方には貴重な意見を頂戴いたしましてありがとうございます。

高須賀事務局長

どうもありがとうございました。本日の第3回の会議を持ちまして今年度の総合教育会議は当初の予定通りすべて終了しました。なお、来年度は定期開催を5月、10月、3月に予定しておりますのでよろしくお願いいたします。以上をもちまして平成28年度第3回東温市総合教育会議を終了いたします。

(午後2時45分閉会)